（農林水産業のＩＣＴ－Ｎ－１）

食・農クラウド Akisai（秋彩）
(富士通株式会社)

〔概要〕

富士通では生産現場での ICT 活用を起点に、流通・地域・消費者をバリューチェーンで結ぶ「食・農クラウド Akisai（秋彩）」を提供しています。

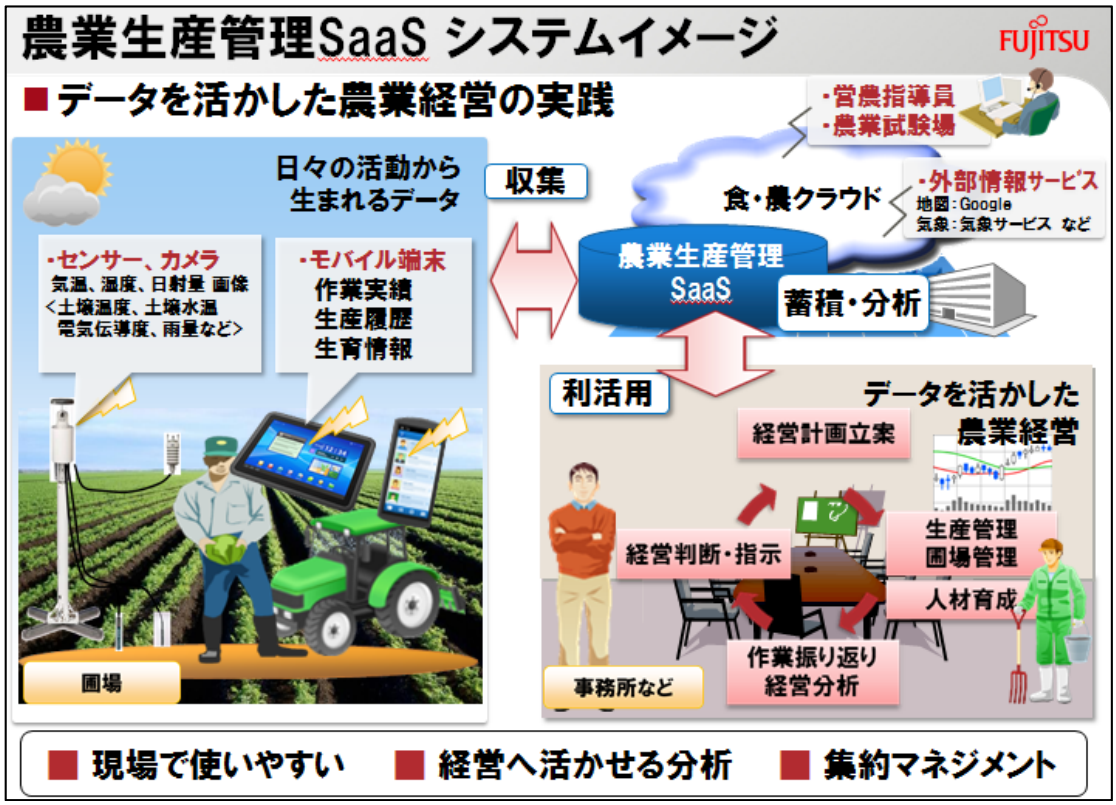
食・農クラウドAkisaiは、露地栽培・施設園芸・畜産分野における生産・経営・販売などを包括的に支援するサービスで、農場の生産管理やコスト管理を行う生産マネジメントは月額8,000円からご利用いただけます。その他、①生産履歴記録に特化した生産マネジメントLite、②生産者と実需者間での需給情報等を管理する集約マネジメントサービス、③圃場の気温湿度・土中温度・日射量・静止画のデータを定期的にクラウドに送信する圃場センシング等のサービス、④生産者の六次産業を支援する農産加工販売サービス、⑤ICT 利用の促進や組織的マネジメントをサポートするイノベーション支援サービス等を提供しています。

〔コラム〕

我が国の農業における国内生産額は、平成23年度農業・食料関連産業の経済生産（速報）によると、最盛期の1990年比で約3割減の9.5兆円、農業・食料の国内生産額でも最盛期の1996年比で約2割減の94.8兆円となっています。一方で、2009年の農地改正法施行等により企業の農地参入が活発化し、39歳以下の若年層の新規就農者数が増加しているなど、農業分野でのイノベーションの兆しが見え始めています。

富士通ではこうした動向を踏まえ、農作業の現場での実証実験を全国複数の生産者様と共に繰り返しながら、現場で使いやすいICTの検討を進め、2012年10月に食・農クラウドAkisaiのサービスを開始しました。

本サービスをご利用いただいている生産者様からは、圃場毎の生産コストの見える化、圃場の回転率の向上、単収の向上、作業時間の減少、果実の糖度向上に食・農クラウドAkisaiが寄与しているとの評価をいただいております。



また、2013 年 6 月には Akisai を活用する場として自社農場「Akisai 農場」を開設しました。食・農クラウド Akisai を実際に活用しながら、露地栽培・ハウス栽培の気付きやノウハウを更に収集しサービスに反映いたします。

富士通は ICT で世界の農業の経営や生産をご支援し、豊かな食の未来の実現に向けた取り組みを進めてまいります。

〔参考 URL〕

平成 23 年度農業・食料関連産業の経済生産（速報）

http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/keizai_keisan/pdf/keizai_keisan_2011.pdf

富士通株式会社　食・農クラウド Akisai HP

http://jp.fujitsu.com/solutions/cloud/agri/

〔問い合わせ先〕

・富士通株式会社　コンタクトライン

0120-933-200

（農林水産業のＩＣＴ－Ｎ－２）

寒冷地北海道でＩＣＴ活用型ハウス栽培管理によるマンゴー栽培
(農業生産法人ファームピープル)
https://sites.google.com/site/mangofarmpeople/

〔概要〕

寒冷地北海道でセ氏８０℃の温泉水をビニールハウス内の熱源として利用し、ＩＣＴを活用したセンシングによる温度管理で南国の果物完熟マンゴーを栽培。

〔コラム〕

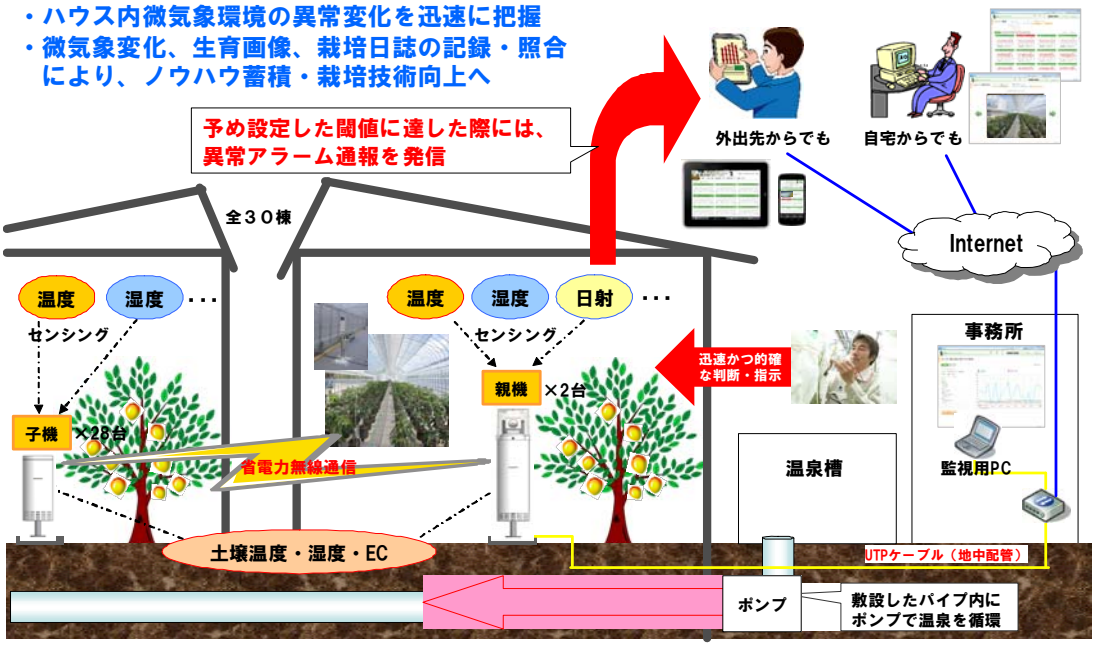
２０１２年釧路市内の通信工事会社が設立した農業生産法人「ファーム・ピープル」が北海道川上郡弟子屈町で約３３，０００平方メートルの広大な敷地にセ氏８０℃の温泉水を熱源としたビニールハウス３０棟を建設した。

３０棟のビニールハウス内の温度管理は、ビニールハウス内に１台ずつ設置したセンサーにより、ハウス内の微気象変化（土壌温度、ハウス内温度、湿度等）を迅速に把握するセンシングシステムを構築した。

このシステムでは、予め設定した閾値に達した場合、タブレットやスマートフォンで異常アラーム通報を受けることができるため、外出先や各ハウス棟を移動中でも迅速に適切な温度管理対応ができる。

親機のフィールドサーバー２台にはカメラが搭載されているため、宮崎県のマンゴー栽培農家から生育状況を見てもらいながら営農指導を受けている。

また、温度管理データを蓄積しながら、栽培日誌と照合することでノウハウ蓄積と栽培技術向上に活用しており、甘くておいしい「極寒完熟マンゴー 摩周湖の夕日」の安定した品質確保に活用している。



〔問い合わせ先〕

・株式会社協和エクシオ　ICT ソリューション事業本部　ソリューション営業本部
・電話: 03-5778-1086